

東京国立博物館ニュース

展示と催し物案内 [第708号]

2011
8-9

2・3 特別展「空海と密教美術」展

4 特別展「孫文と梅屋庄吉 100年前の中国と日本」

5 特別展「予告」「法然と親鸞 ゆかりの名宝」

7・10 総合文化展 見どころ案内 2011年8月・9月 日本美術の流れ 特集陳列「古写経の世界」 特集陳列「室町時代の舞楽」
特集陳列「運慶とその周辺の仏像」 特集陳列「吳昌碩の書・画・印」 特集陳列「石に魅せられた先史時代の人びと」ほか

11 資料館の利用方法が変わります 12・13 みどりのライオン 教育普及事業「講演会／こどもたちのアートスタジオほか」

14 INFORMATION 15 TOPICS 16 2011年8月・9月の展示・催し物



特別展

空海 と 密教美術展

Kukai's World: The Arts of Esoteric Buddhism

国宝・重文率98・9パーセント！
空前のラインナップの「空海と密教美術」展から
話題沸騰の「仏像曼荼羅」に焦点をあててご紹介します
7月20日(水) — 9月25日(日) 平成館

空海による

「立体曼荼羅」

密教美術といえど何を思い起こしますか。多くの仏が描かれた曼荼羅という人も多いのではないのでしょうか。曼荼羅とは、聖なる空間を意味します。その特徴は、多くの仏が集まっているということです。

曼荼羅にはいろいろな種類があります。仏の姿を描いたもの、手の形(印契)や持物だけを描いたもの、尊像を表す梵字(ぼんじ)によるもの、さらに立体で表したものもあります。この展覧会にはさまざまな曼荼羅が出品されますが、中でも注目していただきたいのが教王護国寺(東寺)講堂の立体曼荼羅の諸像です。

東寺講堂須弥壇上には、中央に大日如来を中心とした五体の如来、その向かって右に五体の菩薩、左に五体の明王、右縁左縁に梵天と帝釈天、四隅に四天王の合計二十一体が整然と安置されます。その様子は、まさに立体による曼荼羅です。像の選択や配置は、經典をもとにした空海の考えが反映されています。空海は「密教は奥深く、文章で表すことは困難である。かわりに図画をかりて悟らないものに開き示す」と述べていますが、立体曼荼羅は密教を伝える最もよい方法であったはず。今回の展覧会では菩薩二体、明王二体、梵天・帝釈天、四天王二体の計八体が出品され、会場に曼荼羅が現れます。

「仏像曼荼羅」の 見どころ

5 梵天坐像 6 帝釈天騎象像

奈良時代に造られた梵天や帝釈天とは姿や表現がかなり異なる像です。梵天像は、二つの顔と四本の腕を持ち、菩薩よりももっと筋肉質な上半身をあらわにします。さらに大きな違いは、梵天は四羽のガチヨウ、帝釈天は象に乗っていること。空海が唐から持ち帰った図像に酷似した姿があります。

帝釈天の表情は、梵天や菩薩と少し異なる雰囲気であることに気付かれると思います。じつは帝釈天の頭部は後世に造りかえられたのです。梵天などよりも人に近い表情で、その端正な顔に魅かれる人が多くいます。



1 金剛法菩薩坐像
2 金剛業菩薩坐像

面長で頬の引き締まった精悍な顔立ち、そして筋肉質な身体表現が特徴です。胸筋は盛り上がり、腹部の肉取りは引き締まっています。そして広い胸から腹部に括れるプロポーション。これほどまでに肉体を重視する表現は、他の日本の仏像にも中国の仏像にもないでしょう。それは密教誕生の地インドの彫刻に見ることができるとです。空海は、長安の都で見たインドの仏像の表現を、東寺講堂諸像にうつそとしたのではないのでしょうか。

3 降三世明王立像

4 大威徳明王騎牛像

明王は密教固有の尊格で、煩悩や欲望などを力づくで調伏します。もともとインドの神であつたため、多くの顔や目、手足を持った異形の姿です。降三世明王が踏みつけるのは邪鬼ではなく、ヒンドゥー教のシヴァ神である大自在天王と、妃の烏摩です。胸前では両手の小指を組む複雑で見慣れない印を結びます。

大威徳明王が座する水牛は、ヒンドゥー教の死の神ヤマを表します。その上に大威徳明王が座することは調伏を意味します。

7 持国天立像 8 増長天立像

飛鳥時代に造られた四天王は直立して怖い顔ではありませんが、時代とともに怖さが増し、東寺講堂の持国天で頂点に達しました。以後もこれほど怖い四天王は造られませんでした。日本一怖い四天王だと思えます。持国天の大きく開けた口からは凄まじい怒声が聞こえてきそうです。増長天の上歯列をむき出しにする表情には迫力があります。この像のすごさはそればかりではありません。頭部を左の真横に向けているのです。それまでも顔を左の方に向けている像はありましたが、真横に向けてしまった大胆さには驚かされます。造像時には美しい彩色は比較的良好に残っていて、造像時には美しい彩色は比較的良好に残っています。



●金剛法菩薩坐像 (五菩薩のうち)
●金剛業菩薩坐像 (五菩薩のうち)
●降三世明王立像 (五大明王のうち)

●大威徳明王騎牛像 (五大明王のうち)
●梵天坐像、●帝釈天騎象像
●持国天立像 (四天王のうち)

●増長天立像 (四天王のうち)

全て平安時代・承和6年(839) 京都・東寺蔵

2頁地文: ●雙臂指帰 空海筆 平安時代・8~9世紀 和歌山・金剛峯寺蔵

「空海と密教美術」展

7月20日(水)~9月25日(日) 平成館

主催:東京国立博物館、読売新聞社、NHK、NHKプロモーション

後援:文化庁

特別協力:総本山仁和寺、総本山醍醐寺、総本山金剛峯寺、

総本山教王護国寺(東寺)、総本山善通寺、遺迹本山神護寺

協力:真言宗各派総大本山会、南海電気鉄道

協賛:あいおいニッセイ同和損保、きんでん、大日本印刷、トヨタ自動車、非破壊検査

観覧料金:一般1,500円(1,200円)、大学生1,200円(900円)、

高校生900円(600円)

* ()内は20名以上の団体料金。中学生以下無料

* 障がい者とその介護者1名は無料です。入館の際に障がい者手帳などをご提示ください。

お問合せ:ハローダイヤル 03-5777-8600 展覧会ホームページ: <http://kukai2011.jp/>

* 会期中作品の一部に展示替えがあります。

さて、八体もの仏像が寺から離れたことは過去にありません。今回の出品は驚異的なことですが、空海の意図した立体曼荼羅そのものではないですね。そこで展覧会では、その曼荼羅を仏像曼荼羅と呼ぶことにしました。仏像曼荼羅では、博物館だからこそできる体験があります。例えば、曼荼羅の空間を自由に巡れること。すべての像を三百六十度、どんな方向からも見ることもできます。そして、高い位置から全体を見渡すこともできます。高さ九〇センチメートルのステージを用意しています。また、須弥壇がありませんので、その上に立って見るのに近い角度で像を見ることが出来ます。この機会に像を間近で見て、空海が求めた理想の仏の姿に思いを馳せていただきたいと思います。

(丸山士郎)



2

孫文と梅屋庄吉

中国が新しい国家に生まれ変わろうとする十九世紀終り頃から二十世紀前半にかけて、中国と日本で、互いに親密な交わりを持ちながら活躍した二人の人物がいました。中国の革命運動

特別展

孫文と梅屋庄吉

100年前の
中国と日本

Sun Yat-sen and Umeya Shokichi : China and Japan 100 years ago

中国の革命に生涯をささげた孫文。日本の映画産業の地盤を築きつつ、孫文を物心両面から支えた梅屋庄吉。二人の人物を核に、貴重な写真資料をもとに激動の時代の中国と日本の様相を探ります。

7月26日(火)―9月4日(日) 本館特別5室

に生涯をささげた孫文(一八六六―一九二五)と、日本の映画産業の地盤を築きつつ、孫文を物心両面にわたって手厚く支援した梅屋庄吉(一八六八―一九三四)です。

孫文は、同治五年(一八六六)に広東省香山県(現中山市)で生まれました。ハワイで成功していた兄を頼り十二歳で留学。その後、香港で西洋医学を習得し、マカオで開業します。多感な青年時代を海外で過ごし、国際的な視野を身につけました。清朝打倒に身を投じると、亡命生活を余儀なくされ、また支援を求めて欧米各地を奔走しました。

梅屋庄吉は、明治元年(一八六八)に長崎で生まれました。香港で梅屋照相館という名の写真館を営み、その後、映画産業に乗り出し、日活の創設に関

わるなど、日本における映像事業の黎明期に活躍しました。孫文と梅屋庄吉は梅屋の写真館で邂逅します。孫文の志に共感した梅屋は妻のトクとともに、生涯にわたって孫文を援助し続けました。周囲の猛反対を受けた宋慶齡との結婚も、仲立ちをしたのはトクといわれています。

初公開資料による タイムスリップ

この展覧会は、孫文が中心的な役割を果たした辛亥革命(一九一一)から百年の節目を迎えるのを機に、孫文と梅屋庄吉、そして彼らと密接に関わった人々や所縁の地の実態を、当時の生の資料によってご覧いただくとするものです。

展示の中核となるのは、梅屋庄吉の曾孫にあたる小坂文乃氏の手元で大切に保管されてきたアルバム及び関連遺品と、東京国立博物館や関連機関が所蔵する当時の稀少な写真、約二百五十点。いずれも、歴史の実像を物語るきわめて貴重な資料でありながら、これまで一般にはほとんど目に触れることがなかったものです。

初公開の資料の数々により、およそ百年前の激動の時代における中国や日本の様相をご鑑賞ください。(関 紀子)

関連事業

① 記念講演会

7月29日(金)13:30～14:30

「孫文の生きた時代」 川島 真(東京大学大学院准教授)

「曾祖父・梅屋庄吉」 小坂文乃(梅屋庄吉曾孫)

② 記念上映会

8月12日(金)13:30～16:00

「孫文―100年先を見た男」(中国・2006年制作)

テレク・チュ監督、ウィンストン・チャオ主演

内容: 1910年、度重なる武装決起の失敗により、逃亡生活を余儀なくされた孫文はマラヤ(現マレーシア)のペナンへ向かう。清朝政府によって命を狙われながらも、愛する人に支えられ、理想を高く持ち続けた革命家・孫文を描いた一代歴史ロマン(上映時間2時間7分)。

会場: 平成館大講堂

定員: 各回380名(事前申込制、応募多数の場合抽選)、聴講無料(ただし、本展覧会の観覧券が必要。半券でも可、その場合は別途、入館料は必要です)

申込方法: 往復はがきの「往信用裏面」に郵便番号、住所、氏名(ふりがな)、電話番号、希望する番号(①講演会、②上映会)を、「返信用表面」に郵便番号、住所、氏名を明記の上、下記までお申し込み下さい。

*1枚のはがきで、1つのイベントにつき、最大2名の申込可。2名の場合は、それぞれの氏名を必ず明記してください。

申込先: 〒106-8611 東京都港区西麻布2-25-18 麻布パレスビル「孫文と梅屋庄吉」講演会(または上映会)係

申込締切: ①7月12日(火)、②7月26日(火)必着



①太和前(「北京城写真」より) 小川一眞撮影 光緒27年(1901)

東京帝国大学の北京城調査に同行した写真師、小川一眞(1860～1929)によって撮影された清朝末期の紫禁城の姿

特別展 孫文と梅屋庄吉 100年前の中国と日本

7月26日(火)～9月4日(日) 本館特別5室

主催: 東京国立博物館、毎日新聞社 後援: 外務省、中国大使館

特別協力: 小坂文乃、長崎県、長崎大学附属図書館 協力: 日本中華総商會、日本通運、東京スタジオ、日比谷松本楼

協賛: 全日本空輸株式会社、リンガーハット、小西国際交流財団

観覧料金: 一般800円(700円)、大学生600円(500円)、高校生400円(300円)

* ()内は前売り・20名以上の団体料金。中学生以下無料*障がい者とその介護者1名は無料です。入館の際に障がい者手帳などをご提示ください。

お問合せ: ハローダイヤル 03-5777-8600 *会期中作品の一部に展示替えがあります。

【予告】

法然上人八百回忌・親鸞聖人七百五十回忌

法然と親鸞

In Commemoration of the 800th Grand Memorial of Honen and the 750th Grand Memorial of Shinran
Honen and Shinran: Treasures Related to the Great Masters of the Kamakura Buddhism



ゆかりの名宝

鎌倉の巨星ふたつ。800年ぶりの再会。

法然と親鸞の師弟としての交流は、六年間のごく短期間でしたが、親鸞は入門五年目にして、法然の主著『選択本願念仏集』と肖像を写すことを許されています。しかし、法然が厳しい修行や学問などの諸行を否定したことなどで、延暦寺や興福寺によって訴えられ、二人は四国と越後に配流となり、再び言葉をかわすことはできませんでした。本展覧会は、法然と親鸞が、ゆかりの名宝をとおして八百年ぶりに再会する史上初の特別展です。各宗派に伝わった文化財は、相互に深い関わりをもつ



◎二河白道図 鎌倉時代・13世紀
京都・光明寺
法然の思想が図中にあらわれています

ています。たとえば、『二河白道図』は、唐の僧善導が示した譬喩で、現世から極楽浄土にいたる白い道を、一心に渡る（念仏すること）で往生できるといいます。法然と親鸞がそれぞれの主著の中でとりあげ、鎌倉時代以降に絵画化されて、今日に伝わっています。往生とは、法然の場合、臨終の際に阿弥陀如来の来迎によって浄土に往生されることです。これに対し、親鸞の場合は、阿弥陀仏を信じて、念仏を称えようと思う心が起きた瞬間に浄土

に往生することが定まるという考え方で、臨終の来迎を待つことをしないのが特徴です。そのため、浄土宗と浄土真宗の阿弥陀如来立像には、印相のよび名や光背の形状などに違いがあります。今回、法然と親鸞に関わる文化財をあわせてご覧いただくことは、二人の魅力とその全体像について理解をより深める上で、またとない貴重な機会といえます。



◎善信聖人絵（琳阿本）（部分）
詞書覚如筆 鎌倉時代・13世紀
京都・西本願寺 巻上第4段 選択付属
親鸞が、法然の正当な後継者の一人として認められたことを伝えています

関連事業

記念講演会

① 11月19日(土)13:30～15:00
「特別展「法然と親鸞 ゆかりの名宝」について」
高橋裕次(東京国立博物館 博物館情報課長)

② 11月26日(土)13:30～15:00
「法然上人に近づく」
西山 厚(奈良国立博物館 学芸部長)

会場:平成館大講堂

定員:各回380名(事前申込制、応募多数の場合抽選)

聴講無料(ただし、本展覧会の観覧券が必要。半券でも可、その場合は別途、入館料は必要)

申込方法:往復はがきの「往信用裏面」に郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号・希望する講演会番号を、「返信用表面」に郵便番号・住所・氏名を明記の上、下記までお申し込みください。

*1枚のはがきで、1つの講演会につき、最大2名の申込可。2名の場合は、それぞれの氏名を必ず明記してください。

申込先:〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-28-9
ウインダム「法然と親鸞展」(希望する講演会番号①または②)

申込締切: ①10月24日(月)、②10月31日(月)必着

法然上人八百回忌・親鸞聖人七百五十回忌
特別展 法然と親鸞 ゆかりの名宝

10月25日(火)～12月4日(日) 平成館

主催:東京国立博物館、NHK、NHKプロモーション、朝日新聞社
後援:文化庁

特別協力:知恩院、増上寺、金戒光明寺、知恩寺、清浄華院、善導寺、光明寺(鎌倉市)、善光寺大本願、光明寺(長岡京市)、禅林寺、誓願寺、遊行寺、西本願寺、京都 東本願寺、専修寺、佛光寺、興正寺、錦織寺、毫根寺、誠照寺、専照寺、證誠寺

協賛:日本写真印刷、三井住友海上火災保険

観覧料金:一般1,500円(1,300円/1,200円)、大学生1,200円(1,000円/900円)、高校生900円(700円/600円)

* ()内は前売り/20名以上の団体料金。中学生以下無料

*障がい者とその介護者1名は無料です。入館の際に障がい者手帳などをご提示ください。

お問合せ:ハローダイヤル 03-5777-8600

展覧会ホームページ: <http://www.honen-shinran.com/>



② 梅屋夫妻と孫文 大正3年(1914) 小坂文乃蔵

3月に東京で撮影された記念写真。当時、孫文は日本に亡命中で梅屋邸の離れに居住していたこともありました。

③ 上海河南路(「亜東印画輯」より) 中華民国20年(1931)頃

河南路は上海を南北に貫く繁華街。街頭の中空を覆うかのような広告旗が印象的です。近代中国の息吹を感じさせます

④ 長崎港(「長崎市郷土撮影」より) 上野彦馬撮影 江戸～明治時代(19世紀)
長崎は梅屋庄吉の出身地。この写真は風頭山からの長崎港の眺望。港内に浮かぶ帆船が、古くから国際貿易港として開港した長崎の繁栄をしのばせます

⑤ バリ リヴォリ通りからのチェイリリー

宮殿(「万国写真帖」より) 19世紀
ステレオ写真は2枚の同じ写真を専用の眼鏡でのごくことで、画面が立体にみえる仕組みの写真。孫文が清朝の打倒をかけた各国を奔走していた頃、欧米では世界各地の風景、民俗のステレオ写真が流行しました

鎌倉時代から江戸時代までに用いられた刀剣や甲冑などの武具に加えて、武士の肖像画や書を展示します。

9/21 水 10/30 日

北条氏康書状室町時代・永禄3年(1560)
高橋泰郎氏寄贈

上杉謙信の関東侵攻に備え、館林城への援軍派遣のために利根川への舟橋架橋の準備を依頼したもの

本館 ⑤ 室

武士の装い
— 平安～江戸

4

茶の美術

日本の伝統文化である茶の湯のなかで育まれた美術を紹介します。

7/12 火 10/2 日

瀬戸唐津茶碗唐津 江戸時代・17世紀 松永安左工門氏寄贈
皮鯨手と呼ばれ、瀟洒な作行きから夏茶碗として珍重されます

7/12 火 10/2 日

南京赤絵蓮鷺文手桶形茶器景徳鎮窯 明～清時代・17世紀
広田松繁氏寄贈

元は五客一組の向付で、割蓋を添え替茶器に仕立てられています

本館 ④ 室

茶の美術

本館 ③-③ 室

禅と水墨画
— 鎌倉～室町

本館 ③-② 室

宮廷の美術
— 平安～室町

本館 ③-① 室

仏教の美術
— 平安～室町

3 - 3

禅と水墨画 — 鎌倉～室町

禅宗の本格的導入にともない成立した水墨画と墨跡をご覧ください。

8/9 火 9/19 月・祝

●竹斎読書図 伝周文筆文安4年(1447)竺雲等連序・江西龍派等五僧題詩 室町時代・15世紀
小画面にもかかわらず広々とした空間が表現されています

9/21 水 10/30 日

●四季山水図(秋)雪舟筆 室町時代・15世紀
雪舟が中国滞在中に描いたと考えられる大作です

3 - 2

宮廷の美術 — 平安～室町

平安から室町までの貴族社会から生まれた書とやまと絵の世界。

2

国宝室

絵画・書跡の名品をゆったりとした空間で心静かに鑑賞していただくための展示室です。

7/12 火 8/21 日

●宝簡集 巻第二平安～南北朝時代・12～14世紀
和歌山・金剛峯寺蔵
高野山の歴史を今に伝えるまさに宝の文書です

8/23 火

10/2 日

●一遍上人絵伝(巻第七)法眼門伊筆
鎌倉時代・正安元年(1299)
時宗の開祖・一遍(1239～1289)の伝記を描いた絵巻

8/9 火 9/19 月・祝

●後三年合戦絵巻 巻中南北朝時代・貞和3年(1347)
平安時代11世紀、源義家が活躍した戦場の描写が克明です

9/21 水 10/30 日

●延喜式 卷三十九 紙背文書源兼行筆 平安時代・11世紀
この紙背文書により、平等院鳳凰堂の色紙形や『桂本万葉集』の筆者と判明しました**1 - 1 日本美術のあけぼの — 縄文・弥生・古墳**

日本美術の原点として縄文から古墳時代の代表作品を紹介します。

5/10 火 11/6 日

さまざまな文様をもつ銅鐸に加えて、各時代の代表作品を取り上げます。

龍龍鏡 古墳時代・4世紀 山口県柳井市柳井字向山 柳井茶臼山古墳
怪異な神像と獣像を配する日本製の鏡で、古墳時代最大のものです**1 - 2 仏教の興隆 — 飛鳥・奈良**

飛鳥時代から奈良時代にかけての仏像や経典など、古代の仏教美術を紹介します。

9/21 水 10/30 日

●日光菩薩坐像奈良時代・8世紀
整った顔立ちや自然な衣文表現など、当時の最も正統な作風を伝えてます

8/9 火 9/19 月・祝

四分戒本并序奈良時代・8世紀 堀達氏寄贈
称徳天皇の発願で、出家修行者の規則に関する経典。やや大粒の字体が特徴です

3 - 1

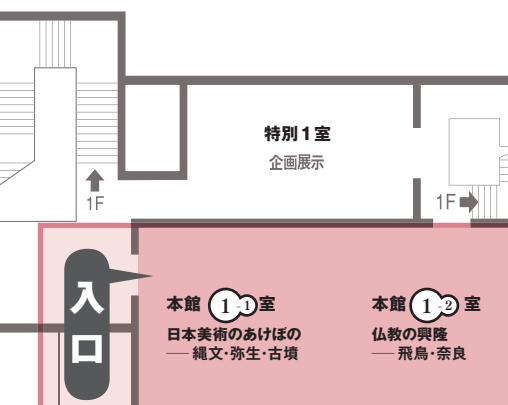
仏教の美術 — 平安～室町

絵画、彫刻、書跡など、日本仏教美術の多様で多彩な世界をご覧ください。

8/9 火 9/19 月・祝

●地藏菩薩立像善円作
鎌倉時代・延応2年(1240)
奈良・薬師寺蔵
雲の上の蓮華座で、腰をかかめて歩む姿。願文によって時代と作者がわかります

9/21 水 10/30 日

●伝源頼朝坐像鎌倉時代・13～14世紀
鎌倉時代以後に流行した武士の俗体形の一例です**術の流れ****江戸まで、
どる日本美術史**

7/5 火 - 9/25 日

必見

暑い季節、涼風を思い起こさせる
水辺の意匠の品々をご覧ください。

青磁染付水車文大皿

鍋島 江戸時代・17～18世紀
個人蔵

染付の青海波文と青磁釉を交互に配し、水と空間の広がりを表現しています



必見

7/5 火 - 9/25 日

網干蔦蒔絵棚

江戸時代・17世紀

網を干す様子は、当時の屏風絵や工芸品のモチーフによく見られます



8 - 2

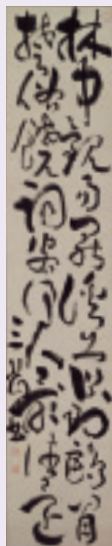
書画の展開
— 安土桃山・江戸

必見

7/12 火 - 8/21 日

安土桃山から江戸時代にかけて活躍した人々の書や古文書を展示。

○消息(ちよぼ宛)

徳川家康筆 江戸時代・17世紀
孫の容体を思う祖父の思いをつづった晩年の家康自筆の手紙です

8/23 火 - 9/25 日

必見

江戸時代中・後期に活躍した文人・学者による唐様の書の作品の展示。

唐詩五言絶句 池大雅筆

江戸時代・18世紀

江戸時代の書画に秀でた文人において大雅はその代表的な人物。唐様の持つ自由な書の雰囲気、唐様の持つ自由な書の雰囲気、唐様の持つ自由な書の雰囲気に味わい深さがあります

8/23 火 - 9/25 日

必見

秋の情景を描いた作品を中心とした文人画家の絵画。

花鳥図屏風 6曲1双 佚名筆

江戸時代・宝暦14年(1764)

季節を色鮮やかに寿草花や小鳥たち



7

屏風と襖絵
— 安土桃山・江戸

大画面の作品から生み出される空間の広がりを感じとってください。

7/12 火 - 8/21 日

◎許由崇父図

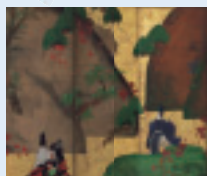
狩野永徳筆 安土・桃山時代

必見

必見

8/23 火 - 9/25 日

秋の気配を感じさせる屏風作品。



◎蔦の細道図屏風

深江芦舟筆 江戸時代・18世紀

山中で、遠く離れた恋人への手紙を託す男の心情を、色付いた蔦の葉で演出する

本館 7 室

屏風と襖絵
— 安土桃山・江戸

5

6

武士の装い
— 平安～江戸

8/9 火 - 10/30 日

必見

かしどりのいかにあかぬしのどうまる

◎程島糸肩赤威胴丸

室町時代・15世紀 秋田・季氏寄贈

胴に兜・袖を加えた三ツ物完備の代表的な胴丸。陸奥の三春藩主秋田家伝来



本館 6 室

武士の装い
— 平安～江戸

8 - 1

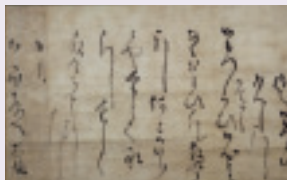
暮らしの調度
— 安土桃山・江戸

安土桃山から江戸時代に人々の身の回りを飾った調度や器を展示します。

本館 8 1 室

暮らしの調度
— 安土桃山・江戸

本館 8 2 室

書画の展開
— 安土桃山・江戸

本館 9 室

能と歌舞伎

9

能と歌舞伎

室町時代～江戸時代に用いられた能面・能装束・歌舞伎衣装などを紹介します。

6/14 火 - 8/7 日

必見

江戸時代の大名家における演能をイメージし「土蜘蛛」の舞台に合わせた面・装束を展示。

あつたからおりしろうじきくからくまもよう

厚板唐織 白地菊唐草模様 江戸時代・18世紀

唐織の技法を取り入れて華やかさを加味した男性役用の厚板



8/9 火 - 9/4 日

必見

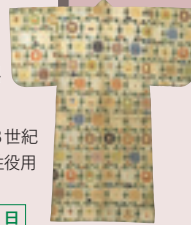
特集陳列「室町時代の舞臺」

和歌山・天野社伝来のものを中心に重要文化財6件を含む舞臺面・装束などを展示。

◎桶福 紺地牡丹二重菱唐草文金襴

室町時代・14世紀 和歌山・天野社伝来

中国・元末～明初に製作され、日本に舶載された壮麗な金襴を用いる



10

浮世絵と衣装 — 江戸

【浮世絵】

江戸時代の美人や風景を描いた版画と肉筆の浮世絵を展示します。

7/26 火 - 8/21 日

「木曾海道六拾九次之内」70枚揃いを2回に分けて展示する第1回。

支那路ノ駅・浦和宿 浅間山遠望

溪斎英泉筆 江戸時代・19世紀

噴煙を上げる浅間山が見える

必見



8/23 火 - 9/19 月・祝

「木曾海道六拾九次之内」2回に分けて展示する第2回。

きそかいどうろくしゅうきゅうつぎ
木曾海道六拾九次
のうちくきつおいわけ
之内・草津追分

歌川広重筆 江戸時代・19世紀

姥ヶ餅が名物の東海道と中山道に分かれる宿場

【衣装】小袖や髪飾り、印籠や根付など
江戸時代のファッションに関する展示です。

6/14 火 - 8/7 日

夏期用の帷子・単衣などのデザインから、江戸時代における涼しさの表現を紹介。

帷子 黒麻地水に紅葉文字模様

江戸時代・18世紀

ひび割れた氷の模様を表して、涼感を呼ぼうという機転を利かせたデザイン

8/9 火 - 10/10 月・祝

夏に着用する帷子や重陽の節句にちなんだ菊模様のキモノを中心に展示。

振袖 淡紅平絹地菊菊模様 江戸時代・18世紀

腰から下に光琳模様を表した江戸時代中期流行のデザイン



9/21 水 - 10/16 日

最近人気の歌川国芳武者絵と美人図を中心に。

つうぞくすいこでんごうけつりくはにんのひと

通俗水滸伝豪傑百八人之堂

人・浪裡白跳張順

歌川国芳筆 江戸時代・19世紀

国芳水滸伝の代表作



必見

必見

注目の特集

注目
経典に込められた信仰と美

注目
特集陳列

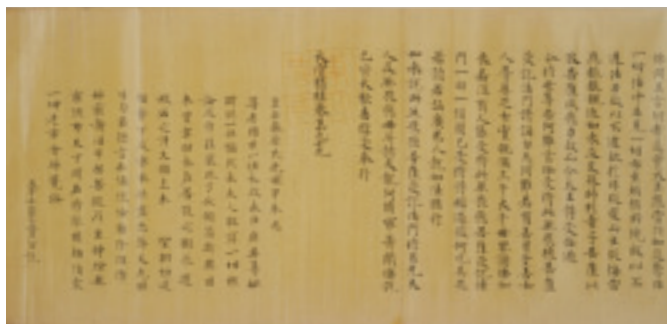
「古写経の世界」

9月6日(火)～10月16日(日)

● 本館特別2室 企画展示

古来、仏教経典を書写することは大きな功德があると考えられてきました。日本でも飛鳥時代に仏教が伝来して以降、時代や社会的な地位を問わず多くの人々によって経典の書写が行われました。奈良時代には国家的な事業として大規模な写経が行われ、書写を専門とする写経生の手になる端正な筆跡の経典が現在に至るまで多く残されています。平安時代になると、王朝貴族や地方豪族の発願による写経が行われるようになります。

特に貴族の美意識を反映した華麗な装飾経が制作されました。今回、当館所蔵の古写経を網羅した『東京国立博物館図版目録 古写経篇』が刊行されたことを機会に、奈良時代から鎌倉時代にかけての古写経の優品を集め、その美しさと書写にかけた人々の信仰をうかがいます。(田良島哲)



大宝積経 卷第九十九 (五月一日経)

奈良時代・8世紀 写経生による端正な筆跡が奈良時代の写経の特色



● 法華経方便品 (竹生鳥経)

平安時代・11世紀
平安時代の優美な装飾協。料紙に金銀泥で蝶、鳥、宝相華、草花、雲などの文様を描いています

注目
英泉・広重の競演、全揃い大公開

「木曾海道六拾九次之内」

1期：7月26日(火)～8月21日(日) / 2期：8月23日(火)～9月19日(月・祝)

● 本館10室 浮世絵

渓斎英泉と歌川広重の合作「木曾海道六拾九次之内」シリーズは、中世道を描いた浮世絵版画の中で最も有名な揃物であり、広重の代表作「東海道五拾三次之内」と並ぶ街道物の優品として知られています。街道の各宿を描いた全七十図からなるこのシリーズを、このたび三十五枚ずつ、二回にわたり全揃い公開します。



岐阻路ノ驛・河渡 長柄川鶺鴒船
渓斎英泉筆 江戸時代・19世紀

の移ろいといった細やかな情感溢れる風景表現が大きみなみどころです。



木曾海道六拾九次之内・洗馬

歌川広重筆 江戸時代・19世紀
二人が描く光や風といった細やかな自然描写にもご注目ください

どこか懐かしく、ときに切なく私たちの心に響くこのシリーズは、この夏、きつと観る人を木曾路の旅へといざなってくれることでしょう。全揃いが公開されるこの機会に、ぜひ英泉・広重の競演をお楽しみください。(大橋美織)

注目
伝統とは異なる中世舞楽の意匠表現

注目
特集陳列

「室町時代の舞楽」

8月9日(火)～10月10日(月・祝)

● 本館9室 能と歌舞伎

舞楽が中国や朝鮮から日本に伝えられたのは、古く奈良時代のことといわれています。宮廷の饗宴用として日本で発展を遂げた舞楽ですが、伝存するものも古い舞楽面や装束は鎌倉時代から室町時代にかけて、寺社の儀式に用いられたものです。特に弘法大師が高野山で勧請した和

歌山・天野社に伝わる舞楽面、舞装束、天冠などは、鎌倉時代より続けられてきた一切経会に用いられたものとして知られています。今回は、長らく公開されてこなかった天野社伝来舞装束重要文化財 五件 文化庁保管を併せて展示し、縫い締め絞・摺絵・板締め・錦・刺し繍な

はん び ちりきりへいけん じきょう
半臂 紫平絹地蝶模様夾絹

室町時代・15世紀 和歌山・天野社伝来
板締で細やかに蝶模様を染め出した半臂



ど、室町時代特有のさまざまな染織技法を紹介します。現代に遺された伝統とは異なる中世的な舞楽の意匠表現をご覧ください。(小山弓弦葉)

注目
特集陳列

重厚と華麗と滑稽 鎌倉彫刻の多面性を味わう

「運慶とその周辺の仏像」

7月12日(火)～10月2日(日)

● 本館14室 企画展示

運慶作の可能性が高い大日如來坐像(二体ともに、神奈川・曹源寺)と伝浄瑠璃寺伝来の当館蔵十二神将像を展示します。曹源寺の十二神将像は鎌倉幕府の有力な御家人三浦氏の注文に応じて造られたと考えられるものです。このうち、巳神は凛々しい武将のようで、静岡・願成就院の運慶作毘沙門天像に通じ、子神(写真上)のユニークな表情は、運慶の子康弁作興福寺龍燈鬼像に通

じます。伝浄瑠璃寺伝来の像は、曹源寺像より繊細、華麗な像で貴族の注文によるものでしょう。戌神写真下・表紙)、未神の迫真の表情、巳神は怒声が聞こえるようで、その充実した造形は運慶作の可能性をあらためて考えるべきかもしれません。東国に残る運慶作品とは大きな開きがあるのですが、注文制作ですから武士と貴族の好みが反映していると考えることもできます。(浅見龍介)

十二神将立像 子神 鎌倉時代
12～13世紀
神奈川・曹源寺蔵(部分)
驚鼻と面部の筋肉の隆起が滑稽な表情をつくっています



◎十二神将立像 戌神 鎌倉時代
13世紀(部分) 伝浄瑠璃寺伝来
かつては青い顔でした。なんと精悍な表情です

注目
特集陳列

台東区立書道博物館との連携企画

「呉昌碩の書・画・印」

9月13日(火)～11月6日(日)

● 平成館 企画展示室

清時代の末期から民国の初期にかけて、書・画・印に妙腕をふるった呉昌碩(一八四四～一九二七)は、清王朝三百年の掉尾を飾る文人です。初めの名を俊、のちに俊卿といい、中年から用いた昌碩の名で広く知られます。十七歳の時、太平天国の乱により一家は離散し、呉昌碩は華北・安徽に避難。二十二歳で科挙の受験

資格を得ますが、仕官を望まず、書画と篆刻で生活します。五十六歳のとき、安徽省(江蘇省)の役人となるものの、一ヶ月で辞職。生涯を在野で過ごしました。呉昌碩は、終生にわたって石鼓文の臨書に励み、その風韻を書・画・印に結実させました。一見すると不器用なまでの重厚な運筆の中に、キ

臨石鼓文軸

呉昌碩筆 中華民国14年(1925)
没する2年前、老いてますますさ
かな82歳の書



ラリと光る輝きを持つ呉昌碩の作風は、日本にも多くの熱烈なファンがいます。台東区立書道博物館との連携企画で、呉昌碩の書・画・印の魅力をお楽しみください。(富田淳)

*同時開催 台東区立書道博物館「呉昌碩の書・画・印」9月13日(火)～11月6日(日)

注目
特集陳列

石器に込められた太古の想い

「石に魅せられた先史時代の人びと」

8月2日(火)～10月30日(日)

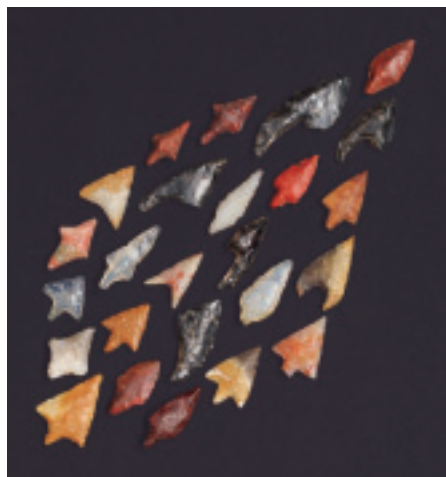
● 平成館 考古展示室

人類はいろいろな道具を作り、使いこなすことで生活をより豊かで便利なものとしてきました。その礎となった道具の一つが石器です。旧石器から縄文、続く弥生時代にも石器は使い続けられ、その一つひとつにはさまざまな物語が刻み込まれています。

本特集陳列では、石器を通して私たちの祖先の暮らしやその想いを皆様にお伝えします。まず、石器の材料として選ばれた各地の代表的な石

材に触れ、次に狩猟や採集などの生活を支えた石器、生命や自然に対する祈りなど精神世界との仲立ちをした石器を取り上げます。最後に石器を作る巧みな技に注目してその神髄に迫ります。

さらに長野県諏訪湖底曾根遺跡から採集された石器から、湖底に眠る狩人の世界を復元するとともに、石器研究に邁進した人々の物語もご紹介いたします。(及川穂)



せきぞく
石鏃 青森県五戸町字古街道長根出土 縄文時代(後～晩期)・前2000～前400年
江渡熊五郎氏寄贈(ほか)
石鏃は硬さ鋭さだけではなく鮮やかな色も持ち味です

国宝
宝簡集

25日)でも、別の巻が展示されます。あわせてご覧ください。(高梨真行)



いっぺんしょうにんえでん
一遍上人絵伝
(巻第七)

いただければ幸いです。(瀬谷愛)

愛染明王像

これらの細部描写もご覧いただきながら解説いたします。

三色紙

紙 伝小野
古葉装の冊
います

(惠美千鶴子)



金象嵌銘

花形飾環頭大刀 はながたかざりかんとうた

A close-up photograph of a vertical strip of ancient papyrus, showing several rows of hieroglyphs. The papyrus is dark brown and heavily textured, with some areas appearing frayed or damaged. The hieroglyphs are carved into the surface and are arranged in a regular, vertical column.

◎金象嵌銘花形飾環頭大刀 金象嵌銘「應星宿」古墳時代・4世紀（刀身：中國製・2世紀） 奈良県天理市榎本・4世紀東大寺山北高塚 東大寺山古墳出土
古代中国の宇宙観に呼応していることを意味。
特集陳列「よみがえるヤマトの王墓」東大寺山古墳と謎の鉄刀」にて展示



資料館の利用方法が変わります!

NEWS!

資料館のみご利用の方は西門から無料。展示館のご利用はできません。



一般のご来館は正門から。入館料が必要です。展示館と自由に行き来できます

資料館のみを利用される方は、これまで通り、西門から入館してください。お帰りの際も西門をご利用ください。西門と資料館閲覧カウンターの入退館の手続きが必要となります。入館料は不要ですが、展示エリアへ行くことはできません。

新しい入館方法

東 京国立博物館資料館では、図書・雑誌・展覧会カタログや写真資料など、多くの資料を整備し、皆様に無料でご利用いただいています。これまで、資料館のご利用は西門からの入館をお願いしておりましたが、2011年9月からは、正門から入館された一般のお客様が直接資料館に行つて、資料を閲覧することができるようになります。展示をご覧になる前や後に、資料館で調べ物をしたり、図録やビデオを鑑賞するなど、今までとは違った博物館体験をお楽しみください。

資料館のFAQ

Q 資料館ってどんなところ?

A 美術史や歴史・考古学など、文化財に関する図書や写真を集めて一般に公開する施設です。資料の閲覧、コピー・サービス、レファレンス・サービスを提供しています。ただし資料の貸出は行っておりません。

Q 利用資格はありますか?

A 閲覧室は、どなたでもご利用いただけます。

Q どのような資料がありますか?

A 図書資料は、日本・東洋の美術・工芸・歴史・考古分野を中心とする図書や雑誌、内外の美術館・博物館で開催された展覧会のカタログ、日本各地の遺跡の発掘調査報告書など22万冊を所蔵しています。閲覧室には、参考図書、一般図書、大型図書、主要雑誌のバックナンバーや、DVD等を配架しており、新着資料や展覧会関連図書コーナーも設けています。館内およびウェブサイトで公開している図書検索システムで、検索することができます。

また、多くの写真資料を閲覧することができるのも資料館の大きな特徴です。トールハクや他機関で所蔵する文化財の写真が貼付した写真カードを、キャビネットに配架しています。また、デジタル化した写真画像は館内の画像検索システムでご覧いただけます。一部はウェブサイトの画像検索システムで公開しています。

▶ 図書・画像資料検索コーナー



Q 開館日・開館時間について教えてください。

A 月曜～金曜日の9時30分～17時(コピーと請求の受付は9時30分～12時、13時～16時)。土・日曜日と祝日、そして月の末日は休館しています。博物館の展示エリアの開館日・開館時間とは異なりますので、ご注意ください。

1000年後の未来に バトンタッチ!

保存と修理情報 6

文化財レスキュー事業が本格化

東博を含む国立文化財機構と関係団体は文化庁からの要請に基づいて、「東北地方太平洋沖地震被災文化財等救援委員会」を設置し、阪神淡路大震災で学んだ多くの教訓を生かしながら、文化財を救い出す本格的な事業に取り掛かりました。

宮城県石巻市や岩手県陸前高田市など各地で被災した多くの文化財を瓦礫の中から、あるいは収蔵庫の中から救い出し、安全な場所へ移動した後に本格的な修理が行われるまでの間の応急処置を施しています。現場からのレスキューには、全国から集められた最も相応しい専門家が現地に赴きます。一時保管のために、地元はもとより日本各地の施設が協力体制を作っています。今回の災害の特徴は地震と津波です。津波に襲われた文化財は汚泥の混じった海水に浸かっているため、そのままではすぐにカビが生え、傷んでしまいます。そのため、文書は水でクリーニングした後に真空凍

被災した収蔵庫から取り出された民俗資料



■銀行振込の場合

銀行口座 三井住友銀行 上野支店
普通 6615496

口座名義 公益財団法人文化財保護・芸術研究助成財団

*銀行振込の場合、振込者の確認が難しいため、領収書、お礼状の発行等の必要上、同財団事務局に事前に連絡をいただくと幸いです

■郵便振替の場合

振替番号 00160-5-12319

加入者名 公益財団法人文化財保護・芸術研究助成財団

*通信欄に「地震」とお書きください



石巻市内の被災館でのレスキュー作業

知る楽しみ、学ぶ喜び
講座・講演会・解説

講演会

日本の城—文献史料・絵図からみる城郭の姿

特集陳列「お城」本館16室(7月20日(水)～8月28日(日))に関連した講演会です。文献史料と江戸時代以降に製作された城絵図を中心に、城のエピソードを交え、その姿に迫ります。

日時：8月13日(土)13:30～15:00

講師：高梨真行(書跡・歴史室主任研究員)

装経—折りと美の世界—

特集陳列「古写経の世界」本館特別2室(9月6日(火)～10月16日(日))に関連した講演会です。古写経の魅力について、洗練された美意識に裏打ちされた巧みな書、高い工芸技術そして篤い信仰を中心にお話します。

日時：9月10日(土)13:30～15:00

講師：島谷弘幸(副館長)

*開場は開始の30分前。いずれも会場は平成館大講堂、定員:380名(先着順)、聴講無料(ただし、当日の入館料は必要)

列品解説

東京国立博物館の研究員による展示解説です。

国宝 宝簡集—高野山文書の世界—

日時：8月2日(火)14:00～14:30 本館20室

講師：高梨真行(書跡・歴史室主任研究員)

高野山の歴史の実像に迫ります。

東大寺山古墳の埴輪を読み解く

日時：8月9日(火)14:00～14:30 平成館企画展示室

講師：山田俊輔(考古室研究員)

東大寺山古墳の埴輪から古墳時代を探ります。

東大寺山古墳の副葬品をめぐって

日時：8月12日(金)18:30～19:00 平成館企画展示室

講師：望月幹夫(特任研究員)

副葬品にみられる東大寺山古墳の特徴についてお話しします。

愛染明王像について

日時：8月16日(火)14:00～14:30 本館20室

講師：沖松健次郎(特別展室主任研究員)

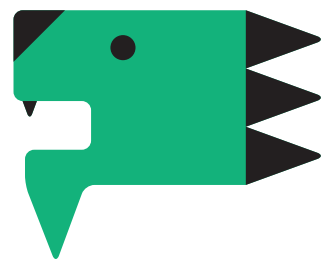
愛欲を表す赤い身色特徴的な明王。作例は日本でしか知られていません。

博物館の妖

日時：8月26日(金)18:30～19:00 本館特別2室

講師：神辺知加(教育講座室主任研究員)

日本美術に登場する妖怪についてお話します。



みどりのライオン

みんなで楽しむ教育スペース

EDUCATION CENTER 教学中心 교육센터



百物語化物屋敷の圖 歌川国芳筆
江戸時代・19世紀



●一遍上人絵伝(巻第七) 法眼円伊筆
鎌倉時代・正安元年(1299)

一遍上人絵巻 巻第七をみる

日時：8月30日(火)14:00～14:30 本館2室 国宝室

講師：瀬谷愛(平常展調整室研究員)

当館所蔵の一遍聖絵を風景や脇役たちにも注目しながらみていきましょう。

朝鮮半島の古墳文化

日時：9月2日(金)18:30～19:00 表慶館第9室

講師：白井克也(平常展調整室長)

朝鮮半島の三国時代、有力者が覇を競ったころの、地域ごとの多様な作品を紹介します。

古写経の世界

日時：9月6日(火)14:00～14:30 本館特別2室

講師：田良島哲(調査研究課長)

東博が所蔵する古代以来の写経の優品を選びすぐって展示します。經典の文字と技を尽くした装飾に籠められた信仰をお伝えします。

石に魅せられた先史時代の人びと

日時：9月13日(火)14:00～14:30 平成館考古展示室

講師：品川欣也(考古室研究員)

旧石器時代から弥生時代の石器に加えて、石器研究に力を注いだ考古学者の話もご紹介します。

東洋館

リニューアルオープンへの道 8

震災によるオープン
延期のお知らせ

ご報告が遅くなりましたが、耐震補強工事完成間際だった3月11日の東日本大震災にも、東洋館の建物は持ちこたえました。しかし、地震の影響で、工事の完了が遅れています。2012年の春を目指していた開館時期も、2013年のお正月まで延期することとなりました。

再開後の東洋館では、玄関左手の第1室すべてを中国彫刻の展示室とします。

西安宝慶寺の石仏群は、以前は1面ずつ展示台の上に立たせて展示をしていましたが、新たな展示台を壁際に設置し、壁につくように展示します。本来の寺院の壁にはまっていた感じに、少しでも近づけようという考えからです。(白井克也)



◎石造浮彫三尊仏龕
唐時代・8世紀
中国陝西省西安宝慶寺

ART 2

五感を使った美術体験

夏休みのファミリー向け展示& 関連ワークショップ

夏休みのファミリー向け展示

怖い!でも気になる!妖怪・お化けの世界

親子のギャラリー「博物館できもだめしー妖怪、化け物 大集合」

7月20日(水)～8月28日(日)本館2階 特別2室

昔から、人でも動物でもない得体の知れない存在は「妖怪、お化け」と呼ばれ、常識では説明がつかない出来事は妖怪たちの仕業とされました。人々は恐れながらも、妖怪の不思議さに惹かれ語り継いできました。江戸時代の「百鬼夜行」という絵巻では、日用品が妖怪になり、手足の生えた傘や目鼻のある釜たちがぞろぞろと列を成して歩く姿が描かれています。今夏の親子のギャラリーでは「百鬼夜行」をはじめ、鎌倉時代の鬼のお面、天狗や河童の根付などを紹介し、皆さんに博物館できもだめしをしていただきます。

百鬼夜行図(模本)(部分)
狩野晴川院養信模 江戸時代・19世紀
ひょうたんや杯が妖怪にばけてぞろぞろと



ファミリーワークショップ

博物館できもだめし

親子のギャラリーでさまざまな妖怪やお化けを見たあとは、ワークショップで博物館に棲む妖怪を見つけ出し、皆で妖怪図鑑を作ってみませんか?

日時: 8月20日(土)10:30～12:30

会場: 平成館小講堂

対象: 小学生とご家族

定員: 10組(応募者多数の場合抽選)

参加費: 無料(ただし、大学生以上は当日の入館料が必要です。高校生と満18歳未満および満70歳以上の方は入館無料)

申込方法: 往復はがき・FAX・電子メールのいずれかで①参加者全員の氏名(ふりがな)・学年②代表者の郵便番号・住所③代表者の電話番号・FAX番号を記入の上、下記申込先へお送りください。当館ウェブサイト上のフォームからお申し込みいただけます。

申込先: 〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9 東京国立博物館 教育普及室「きもだめし」係

FAX: 03-3822-3010(FAX専用) 電子メール: edu@tnm.jp (件名に「8月20日きもだめし」とご記入ください)

締切: 8月5日(金)必着

*当落に関わらず連絡いたします。実施日の3日前までに受講可否の返答がない場合は、通信トラブルの可能性もありますので、教育普及室に電話でお問い合わせください。

ART 3

あなたの鑑賞をサポート

ボランティアによる事業

こどもたちのアートスタジオ

おとなの勾玉作り

子どもたちに人気のワークショップですが、今回は、大人の方に限定したプログラムです。平成館考古展示室にある古代の勾玉を見学した後、実際に滑石を削って勾玉作りに挑戦します。あなたの手で、オリジナルの勾玉を作ってみませんか。できあがったものはお持ち帰りいただけます。

日時: 9月4日(日)13:30～15:30(120分)

会場: 平成館小講堂

対象: 一般(18歳以上)

定員: 15名程度(応募者多数の場合は抽選)

参加費: 無料(ただし当日の入館料が必要)

申込方法: 往復はがき、または当館ウェブサイトの申し込みフォームで①参加者全員の氏名(ふりがな)②郵便番号・住所、③電話番号(FAX番号)を記入の上、下記申込先へお送りください。

*ご応募の際ご提供いただいた個人情報は、当該の目的のみ使用させていただきます。

締切: 8月22日(月)必着

申込先: 〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9 東京国立博物館ボランティア室「9月4日勾玉作り」係

*当落に関わらず連絡いたします。実施日の3日前までに、受講可否の返答がない場合は、通信トラブルの可能性もありますので、ボランティア室に電話でお問い合わせください。



ボランティアによるガイドツアー

たんけんマップ夏休みツアー

小中学生対象の夏休みスペシャル企画です。「たんけんマップ」を持って、見どころいっぱいの博物館のなかをいっしょにたんけんしましょう。親子や大人だけの参加も大歓迎です。

日時: 8月28日(日)11:30～12:15(45分)

会場: 博物館構内

集合場所: 本館1階エントランス



制作工程模型展示

国宝 仏頭ができるまで

8月23日(火)～2012年2月5日(日) 本館20室・教育普及スペース みどりのライオン

東京芸術大学学生ボランティアによる制作工程模型を、通年にわたって展示しています。今回展示するのは、平成17年(2005)に当館で特別公開された興福寺所蔵の国宝・仏頭を題材に、実物の約2分の1の大きさで制作したものです。実物の金銅仏は、頭頂部や左側頭部などに損傷を受けていますが、模型は当初の形を推測して復元しました。仏頭が、どのような材料を用いて、どのような作業工程を経て完成されたか、5つの工程に分けて紹介します。



イベント開催のお知らせ

亀渕友香とVOJAによるコンサート～「愛と平和」をゴスペルにこめて～

日時：10月2日(日) 開場13:30 開演14:00

会場：平成館ラウンジ

出演：亀渕友香、VOJA(コーラス)

曲目：ゴスペルメドレー/Joy/Heal The World/My Life Is In Your Hands ほか

料金：4,500円 友の会・キャンパスメンバーズ割引 3,500円 全席自由

*当日は、コンサートチケットで総合文化展をご観覧いただけます。

主催：東京国立博物館、サロン・ド・ソネット

チケットのお求め方法

○当館正門観覧券売場でのチケット販売

受付時間：開館日の9:30～開館の30分前まで(月曜休館・ただし8月15日、9月19日は開館)

○電話予約販売

申込先：東京国立博物館 総務課イベント担当 TEL:03-3821-9270

受付時間：月曜日～金曜日 9:30～17:00(土日・祝休日は除く)

引換方法：公演当日、9:30～当館正門観覧券売場にて現金引換え。

*各イベントの詳細は、当館ホームページでご確認ください。*お車でのご来館はご遠慮ください。

夏期の節電対策について

東京国立博物館では、7月1日から9月22日の間、電力15%ピークカットの政府要請を受け、例年の黒田記念館閉館に加え、土日祝日には資料館総合閲覧室を、平日にはVRシアターを閉鎖させていただきます。ただし、ピークカットの影響を受けない開館時間延長及び夜間開館は例年どおり実施します。当館では、消費電力の半分以上を文化財収蔵庫の空調等で使用しているため、そのうち外気の影響を受けにくいものの空調を夜間のみとする、執務室の節電を徹底するなど最大限の取り組みをしています。なお、文化財保護のため展示室の設定温度は概ね23度としております。ご観覧の際は体温調節しやすい服装でのご来館をお勧めいたします。ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力いただけますようお願いいたします。

閉室について

9月20日(火)は開館日ですが、本館2階は展示替えのため閉室いたします。

10月8日(土)は留学生の日です

日本の学校に所属する留学生、ALT(外国語指導助手)および、その同行者は総合文化展が無料となります。留学生のためのガイダンスやお茶会などさまざまなイベントも実施されます。お誘い合わせのうえ、ぜひご来館ください。



特別展 ご招待券プレゼント

本誌4ページで紹介した特別展①「孫文と梅屋庄吉—100年前の中国と日本」、②「法然と親鸞—ゆかりの名宝」展のご招待券を、抽選で10組20名様にプレゼントします。締切は①8月15日(月)②9月9日(金)必着。

○プレゼントの応募方法

はがきに住所、氏名(ふりがな)、性別、年齢、職業、ならびにこの号で一番面白かった企画をご記入のうえ、下記までお送りください。発表は発送をもって替えさせていただきます。

〒110-8712 台東区上野公園13-9

東京国立博物館 広報室

「ニュース8・9月号」プレゼント係



①

②

花見で一句入選発表

「博物館でお花見を」(3月23日～4月17日)関連企画「花見で一句」にて、「トーハクで桜を詠もう」をテーマに俳句を募集しました。期間中、館内投句箱にて受付しましたところ百六十一句の応募がありました。花下遊楽図屏風「や九条館」といった固有名詞を織り込んだ一博物館でお花見をならではの句もたくさんございました。ここに館長賞3名、副館長賞4名、桜賞5名を発表いたします。たくさんのご応募有難うございました。

●館長賞

桜咲き桃色に満ちた博物館 染谷桃子さん

池に入るふるるばかりの桜かな 野口朝世さん

九条館玻璃に映える花の雲 桑田忠男さん

●副館長賞

満開の花に鈍翁斎宮の夢 大塚悦子さん

九条館玻璃戸に桜ゆがみ立つ 宇佐美輝子さん

お茶室の玻璃戸に映る落花かな 遠山健治さん

●桜賞

春陰の廊下の奥の黒電話 藤沢無可有さん

御衣黄が去りてさみしき応答館 清水朝世さん

花の塵六窓庵の低き屋根 佐藤とみおさん

藁葺の古き庵や花吹雪 松本修さん

うらにわでしだれざくらにみとれてる 森瑞月さん(9歳)

東京国立博物館賛助会員募集のご案内

東京国立博物館では賛助会員制度を設け、当館の活動を幅広くご支援いただいております。賛助会員よりいただいた会費は、文化財の購入・修理、調査研究・総合文化展・施設整備等の充実にあてております。どうか賛助会の趣旨にご理解ご賛同いただき、ご入会くださいますようお願い申し上げます。

入会日より1年(入会月の翌年同月末日まで)有効。賛助会員には、特別会員と維持会員の2種類があります。

○年会費

特別会員 100万円以上

維持会員 法人 20万円

個人 5万円

○主な特典

●特別展の内覧会にご招待

●東京国立博物館ニュースの送付

*賛助会員の申し込みは随時受け付けております。

○お問合せ

東京国立博物館総務部 賛助会担当
電話 03-3822-1111(代)

東京国立博物館賛助会員 2011年6月28日現在

特別会員

日本電設工業株式会社 様
株式会社 コア 様
株式会社 精養軒 様
大日本印刷株式会社 様
毎日新聞社 様
株式会社 大林組 様
朝日新聞社 様
株式会社 ミロク情報サービス 様
読売新聞社 様

維持会員団体

TBS 様
株式会社 三冷社 様
株式会社 ホテルオークラエンタープライズ 様
株式会社 東京美術 様
株式会社 鶴屋吉信 様
株式会社 安井建築設計事務所 様
株式会社 ナガホリ 様
松本建設株式会社 様
株式会社 スタイルカフェ・ドット・ネット 様
株式会社 古美術数本 様
謙慎書道会 様
近代書道研究所 様
日本畜産興業株式会社 様
株式会社 東京書芸館 様

三菱商事株式会社 様
凸版印刷株式会社 様
ブルガリ ジャパン株式会社 様
財団法人 東芝国際交流財団 様
日本写真印刷株式会社 様
日本ロッテス株式会社 様
サロン・ド・ソネット 様
シティバンク銀行株式会社 様

インフォコム株式会社 様
学校法人 大勝院学園 様
有限会社 システム設計 様
株式会社 インターネット・イン・アジア 様
株式会社 小西美術工芸社 様
公和図書株式会社 様
有限会社 ギャラリー・竹柳堂 様
株式会社 育伸社 様
株式会社 モリサワ 様
香道千香会 様
アミ開発有限会社 様
光村図書出版株式会社 様
株式会社 アクト・ヒューマンリード 様

維持会員個人

木村 則子 様
早乙女 節子 様
伊藤 信彦 様
井上 萬里子 様
数内 匡人 様
服部 禮次郎 様
岩沢 重美 様
高田 朝子 様
齋藤 京子 様
齋藤 邦裕 様
和田 喜美子 様
佐々木 芳絵 様
藤原 紀男 様
中川 俊光 様
関谷 徳衛 様
高橋 智子 様
小澤 桂一 様
上久保 のり子 様
榎田 良豊 様
長谷川 英樹 様
池田 孝一 様
木村 剛 様
観世 あすか 様
星望 由尚 様
久保 順子 様

渡辺 章 様
稲垣 哲行 様
帖佐 誠 様
飯岡 雄一 様
峯村 協成 様
牧美 也子 様
高瀬 正樹 様
坂井 俊彦 様
寺浦 信之 様
高木 美華子 様
古屋 光夫 様
根田 穂美子 様
松本 澄子 様
是常 博 様
上野 孝一 様
北山 喜立 様
山田 泰子 様
田村 久雄 様
高橋 徹 様
柴田 隆子 様
網村 安代 様
高橋 良守 様
岡田 博子 様
臼井 生三 様
津久井 秀郎 様

川澄 祐勝 様
神通 豊様 様
永久 幸範 様
五十嵐 良和 様
石川 公子 様
池田 慶子 様
青山 千代 様
永田 美香 様
西岡 康宏 様
友景 紀子 様
山下 昭夫 様
辻 泰二 様
高木 聖鶴 様
竹下 佳宏 様
野澤 智子 様
野崎 弘 様
坂田 浩一 様
池谷 正夫 様
池谷 徳雄 様
藤 素一郎 様
秦 芳彦 様
杉原 健 様
木谷 駿巳郎 様
高梨 兵左衛門 様
渡久地 ツル子 様

汐崎 浩正 様
堤 勝代 様
平井 千恵子 様
高谷 光宏 様
青山 道夫 様
高橋 静雄 様
田中 千秋 様
小西 時也 様
澁谷 洋志 様
清川 勉 様
山下 昭夫 様
仙石 哲朗 様
中井 伸行 様
高見 康雄 様
田中 望 様
山口 隆司 様
坂田 貴司 様
吉田 靖 様
松本 雅彦 様
片山 正紀 様
伊藤 喜雄 様
井上 雄吉 様
大森 雅子 様
鈴木 宗鶴 様
折越 卓哉 様

細川 要子 様
錦織 伸一 様
秋元 文子 様
土師 諒三 様
上塚 建次 様
鎌賀 賢志 様
山田 輝明 様
高久 真佐子 様
平山 利恵 様
井出 雪絵 様
岡本 博司 様
岡本 恭子 様
田中 榮二 様
谷川 紀彦 様
山口 隆司 様
原 一之 様
会田 健一 様
桐畑 政義 様
相良 多恵子 様
熊谷 勝昌 様
鈴木 徹 様
今里 美幸 様
櫻井 恵 様
伊佐 健二 様

福井 一夫 様
軽部 由香 様
阿部 明美 様
東京西ロータリークラブ有志 様
酒井 弘文 様
木越 純雄 様
井上 保 様
田中 信 様
岡 靖子 様
古川 晴紀 様
菊地 昌之 様
鈴木 千壽 様
岩本 光雄 様
山本 隆幸 様
鈴木 春朝 様
山上 知子 様
名取 幸二 様
増淵 信義 様
要 英範 様
樽本 英信 様
本條 陽子 様
西原 賢一 様
加藤 康幸 様
安田 格 様
ほか49名3社、順不同

TNM & TOPPANミュージアムシアター上演作品のお知らせ

◎VR作品「法隆寺献納宝物 国宝 金銅灌頂幡 飛鳥の天人」

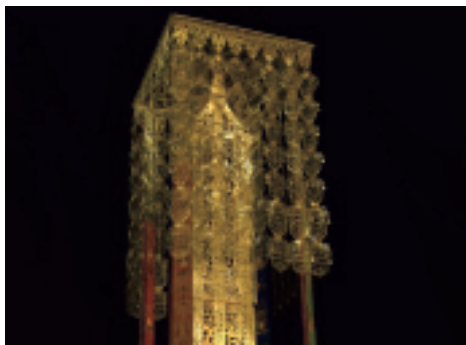
7月2日(土)～9月25日(日)の土・日・祝日

※節電対策のため7～9月の金曜日の上演は休止いたします

法隆寺宝物館に展示されている国宝「金銅灌頂幡^{こんどうかんじょうばん} 飛鳥の天人」は、如来三尊像や優美に舞う天人たちが精緻な透彫と毛彫りで表現され、「日本金工史上最高傑作」の一つと賞されています。本作品では、制作当時の輝く姿の再現や、自由な角度からのズームアップなど、VRならではの方法で鑑賞し、細部に込められた意匠を読み解きながら、飛鳥時代の美と謎に迫ります。

●10:00, 11:00, 12:00, 14:00, 15:00, 16:00上演 各回30名

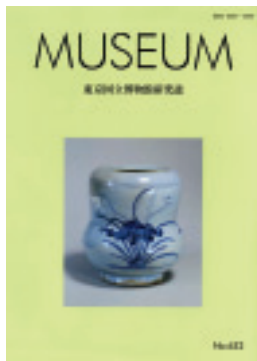
*当日予約制 上演開始10分前までに本館1階エントランスにて受付



VR作品「法隆寺献納宝物 国宝 金銅灌頂幡 飛鳥の天人」より

〔監修〕東京国立博物館
〔制作〕凸版印刷株式会社
〔協力〕法隆寺

MUSEUM632号(2011年6月15日発行)の掲載論文



- ①「一九二〇～五〇年代日本におけるラジオの美術番組—教養としての美術の社会普及—」太田智己(東京芸術大学大学院美術研究科)
- ②「『資料紹介』福羽逸人著『紀州柑橘録』と博物局制作の柑橘図について」田中純子(練馬区立牧野記念庭園記念館)
- ③「『新収品紹介』瑠璃地染付蓮園水指」横山梓(当館特別展室)

「近代日本洋画の巨匠 黒田清輝展」を北海道釧路市立美術館で開催

黒田清輝の功績を記念し、あわせて地方文化の振興に資するために、1977(昭和52)年から年1回、開催館と共催で行っている「近代日本洋画の巨匠 黒田清輝展」は、今年度、釧路市立美術館を会場として、7月16日(土)より8月28日(日)まで開催されます。重要文化財「湖畔」、「智感・情」をはじめ油彩画・デッサン等147点、写生帖、書簡などが出品され、初期から晩年までの黒田清輝の画業を跡づける展覧となっています。



◎「湖畔」1897年
箱根への避暑旅行の間に、後に夫人となる女性をモデルとして、芦ノ湖畔で描かれました。水辺で納涼する女性というモチーフや水色を基調とする淡い色調、ツヤを抑えた油絵具の用い方などに、日本の油彩画への試みがうかがえます。1900年パリ万博にも出品されました。

フランス留学から帰国した翌年、黒田は北海道開拓に携わっていた義兄橋口文蔵とともに函館、札幌などを訪れ、滞在中の日記に「此の北海道と云々ハどうも西洋に似て居る」と記しています。

1992(平成4)年に北海道立旭川美術館、同帯広美術館での開催以来、約20年ぶりの北海道での開催です。多くの方に鑑賞いただければ幸いです。

(山梨絵美子)

国立博物館の展示案内

〈京都国立博物館〉

特別展「百獣の楽園—美術にすむ動物たち—」

7月16日(土)～8月28日(日)

〈奈良国立博物館〉

特別展「天竺へ—三蔵法師3万キロの旅」

7月16日(土)～8月28日(日)

〈九州国立博物館〉

特別展「よみがえる国宝—守り伝える日本の美」

6月28日(火)～8月28日(日)

東京国立博物館友の会&パスポート

友の会

年会費 1万円

発行日から1年間有効

【特典】東京・京都・奈良・九州国立博物館4館の総合文化展・平常展は何度でもご覧いただけます。特別展に関しては、観覧券を12枚配布。そのほか、本誌の定期郵送などさまざまな特典があります

パスポート

一般4,000円 学生2,500円

発行日から1年間有効

【特典】東京・京都・奈良・九州国立博物館4館の総合文化展・平常展は何度でも、お好きな6つの特別展を1回ずつ計6回までご覧いただけます

*建物の改修等のため、京都国立博物館の平常展示館、東京国立博物館東洋館など一部展示館を閉館しています。

◎お申し込みは当館窓口、郵便振替または当館ウェブサイト

【郵便振替でのお申し込み】

- 振替用紙には郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号・職業・年齢・性別・メールアドレスを楷書でご記入ください
- 振替用紙の半券が領収書になります。会員証、パスポートが届くまで保管しておいてください
- 振替手数料はお客様の負担となります
- ご入金確認日より会員証、パスポートがお手元に届くまで2週間程かかります

友の会

加入者名(振替先)東京国立博物館友の会

口座番号 00160-6-406616

パスポート

加入者名(振替先)東京国立博物館パスポート

口座番号 00140-1-668060

●振替用紙には申込区分(一般か学生)、学生の場合は、生徒手帳か学生証のコピーを郵送またはFAXでお送りください

◎お問合せ

TEL 03-3822-1111(代) 友の会・パスポート担当

FAX 03-3821-9680

東京国立博物館ニュース定期郵送のご案内

本誌の定期購読をご希望の方は、年間(6冊分)1,000円の送料・事務費のご負担でご自宅にお届けします

◎お申し込みは郵便振替で

加入者名(振替先)東京国立博物館ニュース

口座番号 00100-2-388101

- 振替用紙には郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号を楷書でご記入ください
- 振替用紙の半券が送料の領収書になります。1年間保管しておいてください
- 振替手数料はお客様のご負担となります
- 次号より送付ご希望の場合、締切は2011年9月10日まで

東京国立博物館メールマガジンのご案内

特別展・各種催し・展示替・ウェブサイト更新などの情報をいち早くお届けします

●ご登録は <http://www.tnm.jp/> から

東京国立博物館利用案内

開館時間 9:30～17:00

2011年7月～12月までの特別展開催期間中の毎週金曜日は20:00まで開館

2011年5月～9月の土日祝休日は18:00まで開館(入館は閉館の30分前まで)

休館日 原則として月曜日(祝日・休日にあたる場合は開館、翌火曜日休館)、年末年始。2011年8月15日(月)、9月20日(火)は開館します

総合文化展観覧料金

一般600(500)円、大学生400(300)円

- ()内は20名以上の団体料金
- 障がい者とその介護者1名は無料です。入館の際に障がい者手帳などをご提示ください
- 満70歳以上、高校生以下および18歳未満の方の総合文化展観覧は無料です。入館の際に年齢のわかるもの(生徒手帳、健康保険証、運転免許証など)をご提示ください

*お申し込みの際にご提供いただいた個人情報は、当該の目的にのみ使用させていただきます。当館は個人情報に関する法令を遵守し、適正な管理・利用と保障に万全を尽くします

2011・8

東京国立博物館 2011年8月・9月の展示・催し物

2011・9

1 MON	休館日
2 TUE	列品解説「国宝 宝簡集—高野山文書の世界—」14:00 本館20室
3 WED	
4 THU	「連続講座」13:00 平成館大講堂*1
5 FRI	夜間開館(20:00まで) 「連続講座」13:00 平成館大講堂*1 法 15:00
6 SAT	時間延長(18:00まで) 「連続講座」13:00 平成館大講堂*1 本 14:00 法 15:00
7 SUN	時間延長(18:00まで) 作 13:30 浮 14:00 考 14:30
8 MON	休館日
9 TUE	列品解説「東大寺山古墳の埴輪を読み解く」14:00 平成館企画展示室
10 WED	浮 14:00
11 THU	本 14:00 庭 14:00
12 FRI	夜間開館(20:00まで) 記念上映会「孫文—100年先を見た男」13:30 平成館大講堂*2 考 14:30 列品解説「東大寺山古墳の副葬品をめぐって」18:30 平成館企画展示室
13 SAT	時間延長(18:00まで) 月例講演会「日本の城—文献史料・絵図からみる城郭の姿」13:30 平成館大講堂*3 陶 14:30
14 SUN	時間延長(18:00まで) 彫 11:00 英 13:00 浮 14:00
15 MON	
16 TUE	列品解説「愛染明王像について」14:00 本館20室
17 WED	
18 THU	彫 15:00
19 FRI	夜間開館(20:00まで) 法 15:00
20 SAT	時間延長(18:00まで) ファミリーワークショップ「博物館で きもだめし」10:30 平成館小講堂*4 本 14:00 法 15:00
21 SUN	時間延長(18:00まで) 茶 12:30、14:00 浮 14:00
22 MON	休館日
23 TUE	
24 WED	
25 THU	英 13:00 本 14:00
26 FRI	夜間開館(20:00まで) 列品解説「博物館の妖」18:30 本館特別2室 考 14:30
27 SAT	時間延長(18:00まで) 記念講演会「心の中に息づく祈り— 弘法大師空海—」13:30 平成館大講堂*5 陶 14:30
28 SUN	時間延長(18:00まで) 記念講演会「吉野・高野の道—空海大師と讃岐—御誕生所善通寺の歴史と寺宝—」13:00 平成 館大講堂*5 彫 11:00 探 11:30 英 13:00 庭 14:00 親子のギャラリー「博物館できもだめし」
29 MON	休館日
30 TUE	列品解説「一遍上人伝絵巻 巻第七をみる」14:00 本館2室
31 WED	

1 THU	
2 FRI	夜間開館(20:00まで) 列品解説「朝鮮半島の古墳文化」18:30 表慶館第9室 法 15:00
3 SAT	時間延長(18:00まで) 建 11:00 樹 13:30 本 14:00 法 15:00
4 SUN	時間延長(18:00まで) 作 13:30 浮 14:00 考 14:30 「孫文と梅屋庄吉—100年前の中国と日本—」
5 MON	休館日
6 TUE	列品解説「古写経の世界」14:00 本館特別2室 建 13:00
7 WED	浮 14:00
8 THU	本 14:00 庭 14:00
9 FRI	夜間開館(20:00まで) 考 14:30
10 SAT	時間延長(18:00まで) 月例講演会「装飾経—祈りと美の世 界—」13:30 平成館大講堂*3 陶 14:30
11 SUN	時間延長(18:00まで) 彫 11:00 英 13:00 浮 14:00
12 MON	休館日
13 TUE	列品解説「石に魅せられた先史時代の人びと」14:00 平成館考古展示室
14 WED	樹 13:30
15 THU	彫 15:00
16 FRI	夜間開館(20:00まで) 法 15:00
17 SAT	時間延長(18:00まで) 建(手話通訳付き) 11:00 樹 13:30 本 14:00 法 15:00
18 SUN	時間延長(18:00まで) 茶 12:30、14:00 浮 14:00
19 MON	時間延長(18:00まで) 総合文化展無料観覧日
20 TUE	建 13:00
21 WED	
22 THU	英 13:00 本 14:00
23 FRI	夜間開館(20:00まで) 考 14:30
24 SAT	時間延長(18:00まで) 陶 14:30
25 SUN	時間延長(18:00まで) 彫 11:00 英 13:00 庭 14:00 「空海と密教美術」展
26 MON	休館日
27 TUE	
28 WED	樹 13:30
29 THU	
30 FRI	法 15:00

*1:3日間連続で受講していただく講座です。事前申込制、詳細は前号3ページをご覧ください。*2:特別展「孫文と梅屋庄吉」関連事業、事前申込制、詳細は本誌4ページをご覧ください。*3:詳細は本誌12ページをご覧ください。*4:詳細は本誌13ページをご覧ください。*5:「空海と密教美術」展関連事業。事前申込制、詳細は前号3ページをご覧ください。*上記の予定は予告なく変更になることがあります。当日の予定はインフォメーションカウンターでご確認ください。*屋外で実施するツアー・ガイドは雨天の場合中止することがあります。

本＝ボランティアによる本館ハイライトツアー、集合場所：本館1階エントランス
浮＝ボランティアによる浮世絵ガイド、集合場所：本館1階エントランス
陶＝ボランティアによる陶磁ガイド、集合場所：本館1階エントランス
彫＝ボランティアによる彫刻ガイド、集合場所：本館1階エントランス
樹＝ボランティアによる樹木ツアー、集合場所：本館1階エントランス(8月は休止)
考＝ボランティアによる考古展示室ガイド、集合場所：平成館考古展示室入口
法＝ボランティアによる法隆寺宝物館ガイド、集合場所：法隆寺宝物館1階エントランス
英＝ボランティアによる英語ガイド(本館ハイライト)、集合場所：本館1階エントランス
建＝ボランティアによるためもの散歩ツアー、集合場所：本館1階エントランス(8月は休止)
茶＝ボランティアによる茶会、集合場所：本館1階エントランス(一般及び大学生は参加費500円、開始30分前に集合場所で整理券配布、8月は九条館(先着20名)、9月は応挙館(先着30名)で行います)

庭＝ボランティアによる庭園茶室ツアー(短縮版) 集合場所：本館1階エントランス(先着20名、開始30分前に集合場所で整理券配布。)
作＝ボランティアによるこどもたちのアートスタジオ(根付作りコース、申込は終了しました)
作＝ボランティアによるこどもたちのアートスタジオ(おとなの勾玉作りコース、抽選、詳細は本誌13ページをご覧ください)
深＝ボランティアによるたんけんマップ夏休みツアー、集合場所：本館1階エントランス(詳細は本誌13ページをご覧ください)
＝ミュージアムシアター「法隆寺献納宝物 国宝 金銅灌頂幡 飛鳥の天人」(7/2～9/25)上映10:00 11:00 12:00 14:00 15:00 16:00 各回30名、集合場所：本館1階エントランス(7月～9月の金曜日の上演は休止します。詳細は当館ホームページでご確認ください)